

とちぎ夢大地応援団活動報告（平成 29 年 5 月 20 日実施）

佐野市 多田地区「再生農地の刈り払い」

佐野市多田地区の柴田保全会（毛利昭一郎会長）のとちぎ夢大地応援団活動が5月20日、応援団員23名、地元柴田保全会員6名の合計29名が参加して、再生農地の草刈りを行いました。

旧田沼町の国道 293 号線沿いにある同地区は、5年前から春秋の年2回、柴田保全会員と応援団員が力を合わせて地区内の耕作放棄地の解消に取り組み始め、灌木や雑草が生い茂る約4haの放棄地の農地への再生を図ってきました。

真夏日となった同日、ボランティア団体栃木ナルクの会員10名を含む夢大地応援団員と地元の人たちとで、山際にあるため池周辺や背丈以上に伸びたヨシ原などの草刈りに大汗を流しました。応援団員の中には、とちぎ夢大地応援団の活動をホームページで知り参加を申し込み、福島県南相馬市の震災復興ボランティアから帰宅途中に立ち寄ってくれた愛知県の68歳の男性もあり、他の参加者たちと交流を深めていました。

昼食後の交流会では、毛利会長が「応援団のおかげで耕作放棄地が農地に再生できつつある。9月頃には、一部にハナショウブを植えて花を楽しむ計画がある」と話していました。





草刈り前のヨシ原



草を刈った後は 下のとおりきれいになりました





昼食会場で毛利会長を囲んで参加者間の交流会のようす

